

○ 花と緑の名所

●豊島区の保護樹林等の指定状況は、保護樹木 327 本、保護樹林 60,049.05 m²、保護生垣 1,027.4 m² (令和 3 年 3 月 31 日現在 豊島区の街づくり 2021 より)

●東京都指定天然記念物「雑司ヶ谷鬼子母神のイチョウ」「鬼子母神大門ケヤキ並木」





資料：豊島区緑被現況調査報告書（令和2年3月）緑被地等分布図をもとに作成

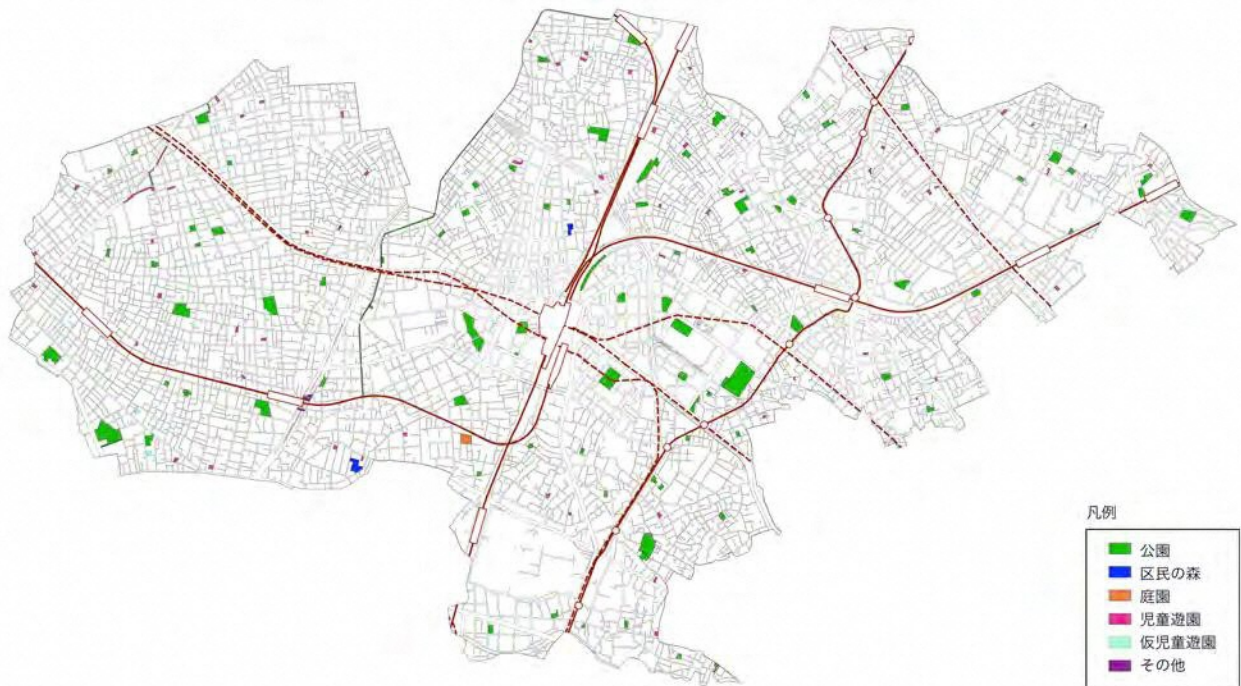
●公園・緑地の特徴

○区立の公園・緑地： 166箇所（23.8ha） 一人当たり面積 0.84 m²/人

- 豊島区は、区民ひとりあたりの公園面積は 23 区中最下位だが、区の面積あたりの公園数は 23 区でもトップクラス

【表】公園等の概況

区 分	箇所数	面 積	備 考
公園	89	203,960.69	・人口 283,184 人 (令和4年2月1日現在)
区民の森	2	4,700.26	
庭園	1	2,842.73	
児童遊園	63	22,292.79	・区面積 1,301 km ²
仮児童遊園	9	2,504.87	
その他（要綱上の公園）	2	1,513.17	
(イ) 合計	166	237,814.51	※ (イ) から庭園を除いた場合
(ロ) 区面積に対する割合	(イ) / 区面積	1.83%	(ロ) 1.81%
(ハ) 区民一人当たりの面積 (m ²)	(イ) / 人口	0.84	(ハ) 0.83



【図】公園等の現況配置図（豊島区都市公園等現況図 R3.1 より作成）

○ 特徴的な区立公園

● としまどりの防災公園（イケ・サンパーク）



2020年に区内最大面積を持つ公園としてオープン。芝生広場やイチヨウ並木、カフェ、小型キャビン型店舗も出店。公園内で開催するファーマーズマーケットでは旬の野菜や果物を農家から直接買うことができ、生産者と消費者がつながる場となっている

資料：豊島区広報パンフレットより

● 南池袋公園



広々とした芝生広場が印象的な公園。区内駒込発祥のソメイヨシノやヤマザクラをはじめとした約2,500本の草木を植栽。桜の下での階段状デッキ、園内カフェのある気持ちのいい空間

資料：豊島区広報パンフレットより

○ 区民の森

● 区民の森【池袋の森】



日本を代表する林学博士の住宅で、園内中央のユリノキは博士が研究用に外国から導入。樹木に囲まれた草地広場、井戸水池があり、ボランティアグループによる管理を行っている

資料：豊島区 HP より

● 区民の森【目白の森】



里山の雰囲気味わえる貴重な森として近隣住民の意向により緑地として保存。区内でも有数の大きさのシイノキやクスノキ、井戸、池がありボランティアグループにより野鳥観察を行っている

資料：豊島区 HP より

○ 庭園

● 目白庭園



目白の閑静な住宅街にある本格的日本庭園。数寄屋建築の『赤鳥庵』は各種会合に利用可能

資料：豊島区 HP より

○ 都立霊園（雑司ヶ谷霊園・染井霊園）

● 雑司ヶ谷霊園



雑木林のような自然に近い環境。文化人が眠る墓所があり散策に訪れる人も多い。ケヤキの古木、銀杏の高木も多数。面積 10ha

資料：2021 年撮影

● 染井霊園



都立霊園の中で最も規模が小さく、桜の古木が点在する。霊園の西側には本妙寺や慈眼寺、広大な岩崎家の墓所に隣接するため静寂な地となっている。面積 7ha

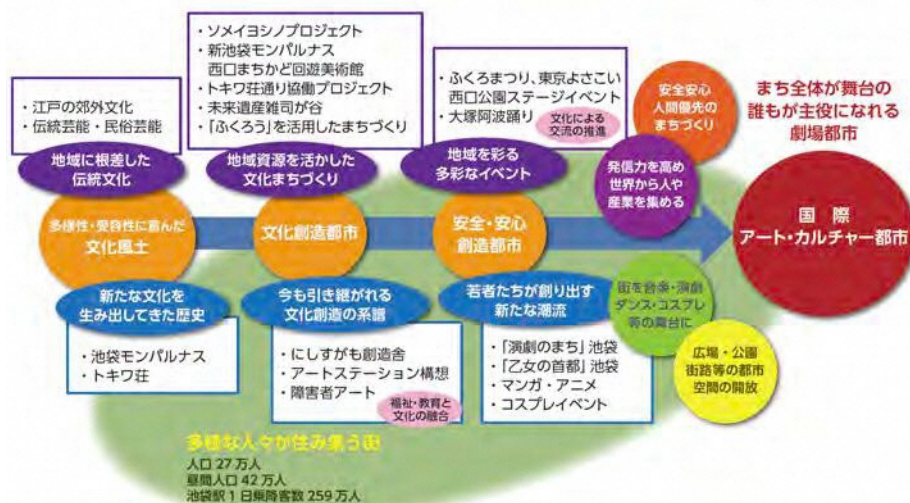
資料：豊島区 HP より

●特徴的な事業



○『豊島区国際アート・カルチャー都市構想』

- 多様な文化資源を有する豊島区の強みを最大限に生かしながら、安全・安心な都市空間の中で、芸術・文化の魅力により人と産業を惹きつける好循環を創出し、“誰もが主役になれる”まちの実現をめざす「国際アート・カルチャー都市」



資料：豊島区 HP（豊島区国際アート・カルチャー都市構想）より

○ 東京初「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」ダブル選定

- 経済・社会・環境の3つの側面をつなぎ、さらなる相乗効果をもたらす自治体 SDGs モデル事業として、池袋駅周辺4公園を核としたまちづくり
- 個性ある4つの公園の連携とそれらをつなぐ電気バス「IKEBUS」により、池袋に新たな交流の場とにぎわいを創出
- 区内に点在する中小規模公園の地域特性に応じた活用



資料：豊島区広報パンフレットより

○ 『東アジア文化都市 2019 豊島』 記念事業 23 のまちづくりプロジェクト

- 令和元（2019）年に開催した日中韓の国家的文化交流事業「東アジア文化都市 2019 豊島」では特徴的な文化イベントを年間にわたり開催し、その記念事業として「100年に一度」の文化のまちづくりへの集中投資となる、23の事業を行っている

23のまちづくり記念事業



Hareza 池袋

としま区民センター（写真右）
2019年11月オープン

1

東京建物Brillia Hall
（芸術文化劇場）（写真中）
2019年11月オープン

2

オフィス棟
（Hareza Tower）（写真左）
2020年7月オープン

3



庁舎跡地周辺道路整備
2021年3月完成

4



寺町沿道道路整備
2020年10月
第一区間完成

5

4つの公園

※南池袋公園は2016年4月リニューアルオープン



池袋西口公園
（GLOBAL RING）
2019年11月オープン

6



中池袋公園
2019年10月オープン

7



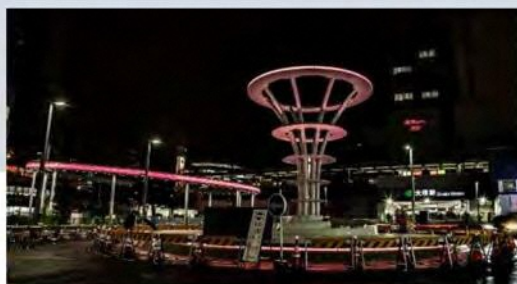
イケ・サンパーク
（としまどりの防災公園）
2020年12月オープン

8

大塚・巣鴨

大塚駅周辺整備（北口）
（ironowa hiro ba）
2021年3月駅前広場完成

9



巣鴨地蔵通り無電柱化
（Ⅰ工区）
2021年6月完成予定

10

池袋駅周辺



ウイロード
2019年11月完成

11



としまキッズパーク
2020年9月オープン

12



IKEBUS 2019年11月運行開始

13



池袋保健所仮庁舎
2019年10月完成
※2024年度に南池袋二丁目
C地区へ本移転予定

14



旧池袋保健所の活用
2023年春完成予定

15



グリーン大通りの再生
2020年7月
第二区間完成

16



ビックリガート上空デッキ
2020年3月完成

17

豊島区全域



アートトイレ
2019年11月完成

18



観光案内標識の整備
2020年3月完了

19



目白・ 椎名町周辺

トキワ荘
マンガミュージアム
2020年7月オープン

20



雑司が谷公園
2020年3月オープン

21



学習院壱の坂無電柱化
2020年3月完成

22

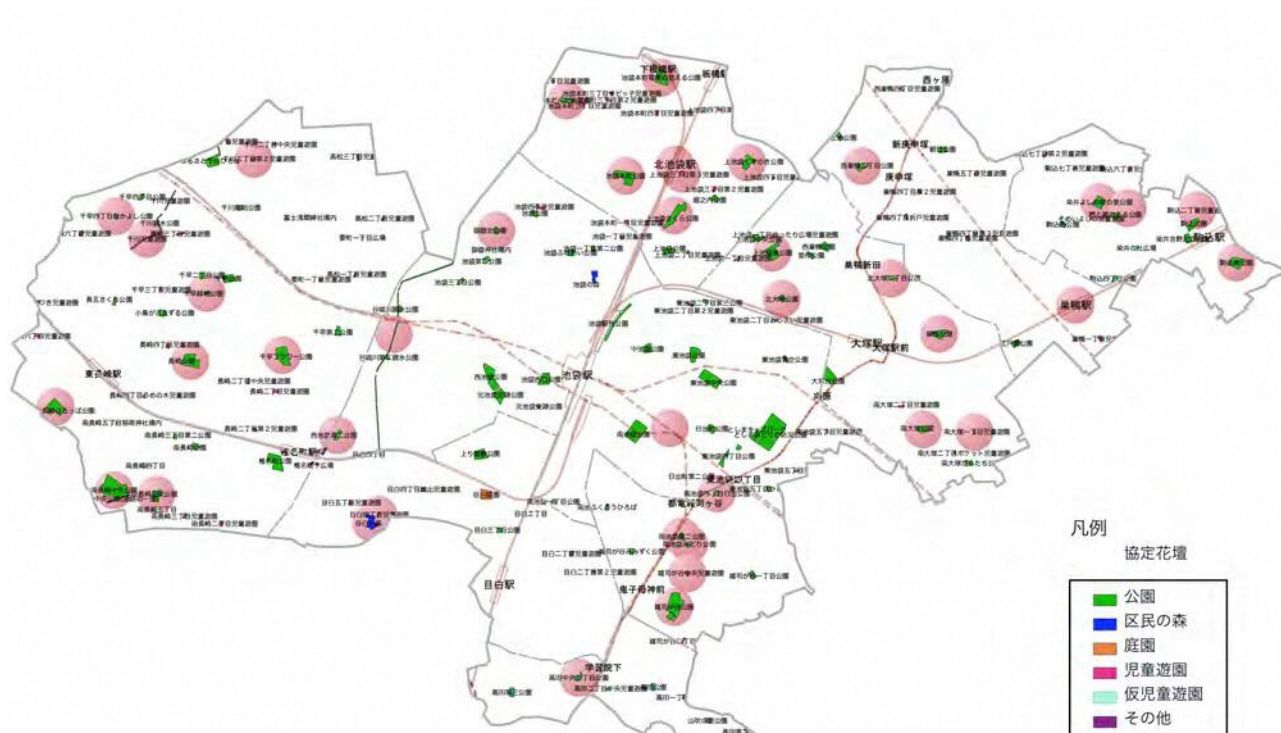


銀鈴の塔
2020年3月完成

23

○ 協定花壇

- 豊島区みどりの協定による協定花壇が 43 箇所あり、40 の活動団体が管理を行っている



■公園

団体名	名 称	住 所
すみれ会	御旗北公園	池袋3-44-20
プレバカダン部	池袋本町公園（プレーパーク内）	池袋本町1-27-1
池本だんだん公園を育てる会	池本だんだん公園	池袋本町2-37-1
でみこ会	池袋本町電車の見える公園	池袋本町4-41
上池袋イーストフラワークラブ	上池袋東公園	上池袋1-30-20
上池袋町会	上池袋さくら公園	上池袋2-45-15
池ハルレテールクラブ	上池袋くすのき公園	上池袋4-19-1
えんどう豆	巣鴨公園	北大塚1-12-10
なでしこの会	北大塚二丁目公園	北大塚2-34-2
虹の会	北大塚公園	北大塚2-12-15
駒込東公園花づくり会	駒込東公園	駒込1-22-1
四季の会	染井よしの桜の里公園	駒込6-3-1
雑司が谷ひろばくらぶ	雑司が谷公園	雑司が谷2-12-1
高田おひさまガーデン	高田中央三丁目公園	高田3-38-6
緑と花の会	千早フラワー公園	千早1-8-1
花の咲く里	千早緑地公園	千早2-34-2
千早4丁目フラワー会	千早4丁目なかよし公園	千早4-10-14
スマイルガーデン	長崎公園	長崎3-25-15
フラワークラブ	長崎公園	長崎3-25-15
朝光会	西池袋第二公園	西池袋4-40-18
花いっぱいグループ	西巣鴨二丁目公園	西巣鴨2-27-7
あじさいの会	南池袋四丁目日出公園	南池袋4-12-16
雑司が谷ひろばくらぶ	南池袋みどり公園	南池袋4-7-9
雑司が谷ひろばくらぶ	南池袋第二公園	南池袋4-8-5
れもんぐらす	南大塚公園	南大塚2-27-1
花の街づくり会	南長崎花咲公園	南長崎3-9-22
スポーツ公園花壇の会	南長崎スポーツ公園	南長崎4-13-5
クローバーの会	南長崎スポーツ公園	南長崎4-13-5
南長崎はらっぱ公園を育てる会	南長崎はらっぱ公園	南長崎6-1-20
豊島みどりの会	目白の森	目白4-11-21

■児童遊園

団体名	名 称	住 所
カトレア	上池袋三丁目第3児童遊園	上池袋3-13-12
みどりと花を愛する会	千川児童遊園	要町3-19-2
ハビネスオハナ	駒込二丁目児童遊園	駒込2-10-8
千川みどりの会	千川二丁目第2児童遊園	千川2-5-15
花咲き会	高松二丁目児童遊園	高松2-33-11
雑司が谷ひろばくらぶ	雑司が谷中央児童遊園	南池袋4-1-3
あすなろガーデニングクラブ	南大塚一丁目児童遊園	南大塚1-12-11
原っぱキッズ	目白四丁目児童遊園	目白4-11-15

■緑道・歩道・遊歩道

団体名	名 称	住 所
駒小緑の会	駒込小学校周辺遊歩道	駒込3-13-1
花と緑の会	谷端川南緑道	西池袋4-28
豊島岡女子学園中学・高等学校	グリーン大通り植栽帯	東池袋1-25

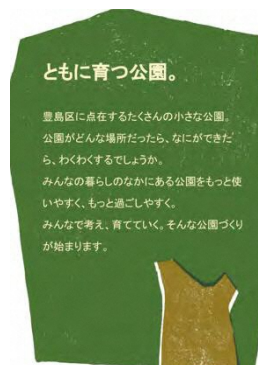
■駅周辺

団体名	名 称	住 所
池袋本町一丁目町会	北池袋駅前接道部	池袋本町1-36-6
巣鴨一丁目町会美化グリーン会	巣鴨駅南口ロータリー	巣鴨1-15-1

【図・表】協定花壇一覧（令和 3 年現在）紫字は重複して活動を行う団体・複数が活動する公園

○ 『中小規模公園活用プロジェクト』（小さな公園活用プロジェクト）

- 公園を地域コミュニティの場として活用するプロジェクトを展開する
- コンセプト「ともに育つ公園。」：自治体だけでなく住民など関係者全員で地元の公園をもっと使いやすく、過ごしやすいものになるよう、みんなで考え育てていく
- プロジェクトの方針：「公園の特性と立地を生かし、地域のための場になるように見直す」「今あるものを活用し、できることを見いだす」「活用の実験と実践を繰り返す」



■これまでの活動内容

- ・「井戸端かいぎ」ワークショップによる公園利活用と再整備（上り屋敷公園・西巣鴨二丁目公園・巣鴨公園 など）
- ・モバイル式遊具＜自由に動かして遊ぶことのできる遊具＞を試験的に導入（駒込七丁目第2児童遊園のインクルーシブ遊具・西巣鴨四丁目公園のおもちゃ倉庫 など）
- ・モバイル式ファニチャー＜移動式の机と椅子＞や本の設置、商店と連携した座談会、コーヒーの販売など（長崎二丁目第2児童遊園・雑司が谷二丁目四つ家児童遊園 など）
- ・HINODE MORNING MARKET：地元商店と連携した朝市（日出町第二公園）
- ・おしゃべりカフェ&紙芝居（池袋本町三丁目児童遊園）
- ・あおぞら美術館（長崎二丁目中央児童遊園）
- ・パークマーケット（千早フラワー公園）
- ・パークトラック：移動式店舗による本とコーヒーの提供 など



資料：豊島区 HP より

千早フラワー公園 所在 千早1-8-1 面積 5542.49㎡ PARK TRUCK運行 パークマルシェ開催	上池袋三丁目第3児童 所在 上池袋3-13-12 面積 457.22㎡ 区民ひろばとの連携	上池袋くすのき公園 所在 上池袋4-19-1 面積 3088.80㎡ PARK TRUCK運行	西巣鴨四丁目児童遊園 所在 西巣鴨4-18-2 面積 250.89㎡ おもちゃ倉庫の展開 プランターの設置	西巣鴨二丁目公園 所在 西巣鴨2-27-7 面積 1357.83㎡ 井戸端かいぎ ガーデン植え替え
千早第二公園 所在 千早1-23-18 面積 1,185.92㎡ PARK TRUCK運行 長崎二丁目中央児童 所在 長崎2-25-11 面積 354.48㎡ ジャンプ長崎との連携				駒込七丁目第2児童遊園 所在 駒込7-7-4 面積 518.70㎡ インクルーシブ遊具 PARK TRUCK運行
上り屋敷公園 所在 西池袋2-14-2 面積 2982.68㎡ PARK TRUCK 井戸端かいぎ	元池袋史跡公園 所在 池袋1-9-12 面積 197.98㎡ PARK TRUCKの活用	高田中央三丁目公園 所在 高田3-38-6 面積 948.52㎡ レイズドベッドの設置	雑司が谷エリア 雑司が谷公園・雑司が谷みずく公園 雑司が谷一丁目公園・南池袋みどり公園 南池袋第二公園・雑司が谷中央児童遊園 雑司が谷四つ家児童遊園	南大塚二丁目児童遊園 所在 南大塚2-36-3 面積 340.31㎡ 井戸端かいぎとマルシェの開催

【図】中小規模公園活用プロジェクト（令和3年度）

○ 農縁公園プロジェクト

- ・ 休地を小農園として活用、地域による管理運営を試験的に実施する

■これまでの活動内容

- ・ 東池袋ファーム 遊休地に誕生した面積約 51.7㎡の小さな農園



資料：豊島区 HP より

○ 『としまパブリックトイレプロジェクト』・『アートトイレプロジェクト』

- 豊島区には 133 ヶ所の公衆トイレがあり、このうち 85 か所の公園トイレ・公衆トイレを平成 29 年から 3 年計画で全面改修
- 従来のトイレは古い・暗いなど使いづらいという区民の声と、2020 年のオリンピック・パラリンピックでの国内外からの訪問者に配慮し、清潔で快適なトイレを提供する
- 85 か所のトイレを改修するにあたり、24 か所のトイレを、個性豊かなアートトイレとして改修



資料：豊島区 HP より

○ 『子どもと女性にやさしいまちづくり』

- 豊島区は平成 26 年、日本創生会議から、若年女性の減少により人口を維持できない「消滅可能性都市」との指摘を受け、直ちに、持続発展都市に向けた重点対策の柱の一つとして、「女性にやさしいまちづくり」を掲げる
- 当事者である若年女性の声を反映させるため、「としま 100 人女子会」を経て、「としま F1 会議」を実施。子育てからワーク・ライフ・バランス、都市ブランディング、広報等、幅広い提案を受け、多くの事業を予算化。中小規模公園活用プロジェクト「ともに育つ公園。」などに展開している
- としま鬼子母神プロジェクト：雑司が谷鬼子母神に因み、出産前からの切れ目ない支援の仕組み、一人ひとりの女性のライフプラン形成を支援、誰もが安心して子どもを産み育てられる地域社会の実現を目指す